

## 1. 策定の背景と目的

府中市内の羽高湖森林公園キャンプ場、河佐峡キャンプ場、矢野温泉公園四季の里もみじ谷園キャンプ場の3キャンプ場及び各付帯施設（羽高湖サン・スポーツランド、河佐峡パークゴルフ場、矢野温泉公園四季の里あやめ園・地域産物加工販売施設）の整備方針や設備の改修スケジュールなど、現行の管理運営方針の見直しや施設の受入環境を検討すると同時に、利用者にとって快適で満足度の高い受入環境整備や持続可能な施設運営を目指し、府中市外からの誘客や観光消費に繋げるためにも、検討目的やコンセプト設定、施設機能の考え方など、基本的な方向性を示します。

## 2. 上位計画との整合性の整理

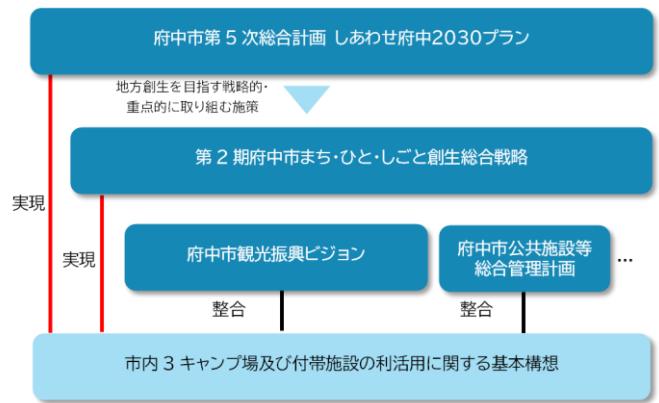
### 2.1. 基本構想の位置付け

本基本構想は、上位計画である「府中市第5次総合計画（しあわせ府中2030プラン）」及び「第2期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現に向け、「府中市観光振興ビジョン」、「府中市公共施設等総合管理計画」などとの整合を図りながら、市内3キャンプ場及び付帯施設の利活用の方向性についてまとめたものです。

### 2.2. 関連する府中市の計画・ビジョン

府中市第5次総合計画「しあわせ府中2030プラン」

市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力の創出に向けて政策の分野ごとに取組を展開することを主旨とし、要素のひとつである「活気・賑わいを生むまち」の取組みでは、多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域の活性化を図るとともに、市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」を目指すこととしています。



具体的な取組（抜粋）

- Web やSNS を活用した情報発信を広く展開し、インバウンドを狙ったプロモーションの展開
- 観光客が利用できるトイレ環境の整備や公衆フリーWi-Fiの設置による国内外の観光客がストレスなく市内での観光を楽しめる受入環境の整備
- 市や観光協会、観光事業者のみならず、これまで観光に携わってこなかった市民やものづくり企業等に対しても、観光を振興することへの理解や参画を促進していく「インナープロモーション」を進め、観光振興を通じた地域の活性化を促進

「第2期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

国の目指す「まち・ひと・しごと」の好循環をつくることで地方への新たな人の流れを生み出すとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことで、市の人口減少の克服を目指しています。総合戦略の計画期間内である令和3年度から令和7年度に優先して実現すべき戦略のひとつに「オンラインの観光」を目指したキャンプ場の活用を定めています。

「府中市観光振興ビジョン」

「市外や海外から多くの人々を招き、交流し、体験する、びんご府中」の実現を目指し、観光政策の方向性を示す目的で策定され、3キャンプ場及び各付帯施設を“府中市の代表的な観光資源・レジャー”と位置付けており、市外から誘客する方策として、観光客のニーズを踏まえた新たな観光商品づくりを進めています。

「府中市公共施設等総合管理計画」

生活中心街と集落市街地がつながるネットワーク型のコンパクトシティを目指し、まちづくりの将来計画を形作る一つの方策として策定され、総合管理計画で対象の公共施設の内、老朽化が進行し利用者の少ない公園等の施設は数量の削減を検討することとしており、レクリエーション施設は民間施設の活用や民間との協働の可能性を検討し、数量及び経費の削減を図ることとしています。

### ■ 将来像を実現するための基本目標「活気・賑わいを生むまち」

#### 【基本目標3】 活気・賑わいを生むまち

地域資源を活かしたまちなかや中山間地域の新たな活気や賑わいづくりを進めるとともに、市民に愛され、市外在住者からも選ばれる取組を推進します。また、持続可能な都市基盤の維持や道路ネットワークの整備を進めるとともに、公共交通網の利便性の向上を図ります。さらに、豊富な歴史資源や文化、ものづくり、食を活かす観光戦略を進めながら、観光振興の恩恵が地域経済に寄与できるような仕組みづくりを進めます。また、スポーツを「する」「見る」「支える」ものとして、スポーツによる地域の賑わいを創出します。

#### 【重点政策テーマ】

- 市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します
- 市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します
- 歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します
- すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

### ■ 第5次府中市総合計画との関連性



## 3. 市内3キャンプ場及び付帯施設の概況

羽高湖サン・スポーツランド、羽高湖森林公園

人工湖の羽高湖を中心に野外ステージ・テニスコートや自然遊歩道などを備え、季節を通して家族で楽しめる「自然の遊園地」として親しまれており、近年はキャンプブームにより県外からもキャンパーが訪れ、市内でも人気のスポットとなっています。

河佐峡キャンプ場、河佐峡パークゴルフ場

自然と景観に恵まれた河佐峡エリアは、芦田川上流域での川遊びに加え、ウォータースライダー、パークゴルフ場などを備え、夏休みを中心に多くの家族連れや若者で賑わっています。また、春は桜、秋には紅葉を楽しむことができます。

矢野温泉公園四季の里もみじ谷園キャンプ場

7万本のあやめ科の花が咲き誇る「あやめ園」、木工体験ができる「地域産物加工販売施設」を備え、自然豊かな森に囲まれたキャンプ場です。例年様々なイベントを開催しており、紅葉時期はもみじ狩りが楽しめます。

## 4. 府中市周辺のキャンプ場

隣接する民間及び地方公共団体のキャンプ施設の立地や特徴、施設設備の内容や価格帯を調査。3キャンプ場の立ち位置を検討した結果、四季の里の価格設定は他施設とおよそ同水準ですが、羽高湖及び河佐峡は宿泊施設の設備や体験施設が充実していることに対して利用料金が低く、利用者にとって他施設と比較して割安であると考えられます。

## 5. 令和3年度に実施した事業者意向調査

特色、参考となるポイント（抜粋）

### ○ターゲットの設定について

- ・キャンプ施設ごとに特徴があり、施設ごとに設定

### ○指定管理者制度のあり方

- ・整備と維持管理の一体発注や5年の期間の延長など、制度の枠組みの中で工夫する
- ・事業期間については現行の5年よりも長く設定してほしいという意見が多く、期間は今後も検討が必要

### ○一体的な維持管理の可否

- ・スケールメリットによる効率的な維持管理が可能との前向きな意見と、それぞれの特徴を踏まえると個別に発注するべきという両方の意見を把握

### ○施設整備、改修の考え方

- ・水回りを中心に整備が必要だが、大規模な整備よりもまずは小規模に整備することが望ましい
- ・施設改修や撤去の資金負担は基本的に府中市による負担が前提
- ・収益による改修は難しいとの意見と、料金改定や利用者増加により増加した利用料金収入は府中市への還元も可能との意見に分かれた

### ○参画意欲

- ・地元事業者から高い参画意欲を把握

## 6. 令和4年度に実施した事業者意向調査

特色、参考となるポイント（抜粋）

### ○施設・設備（ハード）面

- ・キャンプ場の区画サイズが小さいので、流行に沿った大きめのサイト区画へ変更する
- ・自動チェックインの仕組みがあれば受付業務が軽減できる

### ○運用（ソフト）面

- ・キャンプ場は非日常体験の空間である事が必須条件で、日常の延長では体験できないコンテンツの提供が重要
- ・一般的に利用者が多いシーズンで収益を上げるキャンプ場が多く、儲けられる時はしっかり儲けて、他シーズンは管理程度に留める運営体制
- ・近隣農家の野菜を売り出す為に、地域に盛り立ててもらうのも手で、整備無しで地域の利益にも繋がる方法を考える

### ○公募条件に関する事項

- ・利用料金制の採用により、最低でも初年度は現状の管理料がある方が安心して事業ができる
- ・民間に施設の目的外使用の幅を持たせる等、利用料金制による自由度を広げてもらいたい
- ・人の応援体制の面からも、3キャンプ場一括管理の方が好ましく、収支規模も大きくなるので人員体制が組みやすい
- ・指定管理期間は5年+aとしてその先の契約更新を見据えた条件（更新制）であれば、設備投資等何らかの費用負担ができる可能性はある
- ・施設の改修撤去、費用負担の考え方について、修繕計画を作成し、事業者には今後修繕が必要になると認識させた上で管理させる仕組みやルールを予め設定しておくといい
- ・いつまでキャンプブームが続くかが不明であり、整備改修まで踏み切れないので、施設整備は市の対応だとありがたい。
- ・修繕費負担の所在とその負担額がどうなるか、また、職員の最低賃金の保証、保険付保、事故発生時の責任の所在についても確認が必要

## 7.施設管理者、地域団体の意向

### 羽高湖サン・スポーツランド、羽高湖森林公園

#### ○現状の課題、今後対応が必要な事項

- ・管理事務所職員の業務がハード。入場、受付管理に手が回るような受付専属の管理職員が今後は必要。
- ・安売りすると魅力が下がるので、価値を高める上でも、理由を含めて料金の引き上げを検討するべき。
- ・入口ゲートの管理方法、施設内の動線は見直し整備が必要。案内看板を設置するなど分かりやすくする工夫が必要。

#### ○今後、新たに取り組むべき事項

- ・ジャズフェス等の音楽フェスやオクトーバーフェスト、福祉を絡めた農業イベントの取組も必要。

### 河佐峡キャンプ場、河佐峡パークゴルフ場

#### ○現状の課題、今後対応が必要な事項

- ・山と川が隣接しており、立地上グランピングのような整備は物理的に難しい。
- ・パークゴルフ場は設備劣化に伴い、更新費用に100万円以上必要。(管理者負担は難しい)

#### ○今後、新たに取り組むべき事項

- ・飲食施設が無く場内で長い時間を過ごせないため、レストランやカフェのような施設があるといい。
- ・7割の利用者は夏に来訪するが、春は桜、秋は紅葉が素晴らしい。自然を活かして春と秋に人が来るようにするべき。

### 矢野温泉公園四季の里もみじ谷園キャンプ場

#### ○現状の課題、今後対応が必要な事項

- ・冬は水道管の凍結破損や路面凍結が心配。特に電気毛布やカーペットの持込利用者が多く、場内の電気が持つ心配。ある程度の暖房器具の設置、シャワーブースの増設、お湯が出るように改善が必要。

#### ○今後、新たに取り組むべき事項

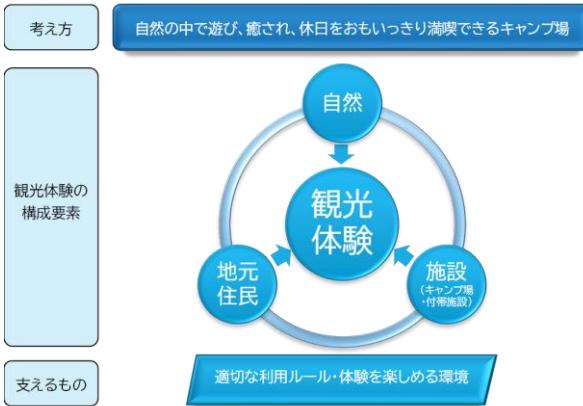
- ・施設内回遊の仕組みづくりとして、ハイキングコースを活用したクイズやスタンプラリーの実施。

## 8.キャンプ場の今後の方向性

### 基本的な考え方

3つのキャンプ場及び隣接の付帯施設は、それぞれが「湖」・「川」・「森」という立地にあり、キャンプ場運営が地域の方々の手によって支えられていることから、ここでしかできない観光体験ができます。近年のキャンプブームに加え、コロナ禍においてもアウトドアに注目が集まっていることもあり、今後もキャンプ場利用者の増加が見込まれます。既存の利用者だけでなく、新規の利用者にとっても魅力ある自然の中でそれぞれの遊び方を選んで体験ができ、自然の中で癒され、休日に一日中満喫しつづることができるキャンプ場を目指すことを基本的な考え方とします。

この考え方を支えるのは、全ての利用者が気持ちよくキャンプ場を利用できるルールや楽しめる環境づくりであり、それぞれのキャンプ場の現状・課題に応じた対応を行っていきます。



### 基本的な考え方を支えるもの

#### ○適切な利用ルール

全ての利用者が気持ちよくキャンプ場を利用できるようにルールを明確化し、運営においても徹底されるように対応します。

#### ○体験を楽しめる環境

利用者が快適に不自由なくキャンプ場を利用できるように基本的な環境を整え、今後も利用者のニーズに応じて環境整備を実施していきます。(令和4年度までに対応した環境整備については以下の一覧のとおり)

環境整備のための原資を確保するために、夏季のオンシーズンと冬季のオフシーズンの料金にメリハリをつけることとし、3キャンプ場をもっと楽しめる取組として、キャンプの講習を実施したり、キャンプ用品の貸出を充実したり、付帯施設での体験プログラムの充実などを実施します。

具体的な取組は、新たな指定管理者との調整により検討し、現在使用されていない施設や設備は撤去し、利用率が低い施設や設備は観光体験の充実のためのひとつのコンテンツとなるように、用途を変更する方針です。

|      |                      |                     |                        |
|------|----------------------|---------------------|------------------------|
| 内容   | ポータルサイト作成及び予約システムの導入 | Wi-Fi システム (光回線)の整備 | トイレの洋式化及び新築            |
| 対象   | 全キャンプ場               | 全キャンプ場              | 洋式化…羽高湖・四季の里<br>新築…羽高湖 |
| イメージ |                      |                     |                        |

## 3キャンプ場の基本コンセプト・実現に向けた課題と対応策(案)

### 羽高湖サン・スポーツランド、羽高湖森林公園

|       |   |
|-------|---|
| コンセプト | 体を動かして遊ぶアクティブな体験ができ、自由なキャンプの楽しみ方ができるキャンプ場 |
| ターゲット | キャンプ上級者、若年層から中年層、家族層                      |

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 自然   | 湖、湖に隣接する芝生空間、山林                   |
| 地元住民 | 諸田町内会                             |
| 施設   | 充実した水回り施設、グラウンドでのスポーツ体験、ワーケーション施設 |

| 課題                     | 対応策(案)  |
|------------------------|---|
| ①スカイサイクルの老朽化           | ・スカイサイクルは撤去し、新たなアクティビティエリアとして整備する                             |
| ②キャンプ場入口及び施設内導線がわかりにくい | ・案内サインを充実する   |
| ③旧管理棟の活用               | ・メインのキャンプサイトから近いため、売店やキャンプ場の受付として利用する                         |
| ④キャンプ区画・駐車場の見直し        | ・人気の場所へ集中するのを防ぐため、フリーサイトの中でもおおまかな区画の目安を定める<br>・区画ごとの駐車位置を定める。 |
| ⑤管理人員の不足               | ・チェックイン時間帯に受付専用係を配置する   |

### 河佐峡キャンプ場、河佐峡パークゴルフ場

|       |   |
|-------|---|
| コンセプト | 夏場の水遊びに加えて春と秋にも自然を楽しみ、付帯施設での体験によって1日中滞在したくなるキャンプ場 |
| ターゲット | キャンプ未経験者、若年層、家族層、グループ客                            |

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 自然   | 川、桜、紅葉                   |
| 地元住民 | 久佐町町内会                   |
| 施設   | ウォータースライダー、パークゴルフ場、八田原ダム |

| 課題                              | 対応策(案)  |
|---------------------------------|---|
| ①区画数が少ない                        | ・旧ファイアークル(現・炭捨て場)を撤去し、キャンプ場の区画を拡充する。  |
| ②区画の面積が狭い                       | ・大型テント、タープ、BBQなど人数や利用場面に応じた楽しみ方に対応するキャンプ区画を整備する。  |
| ③有効活用されていない施設の活用(売店・釣り堀・ウッドパーク) | ・現在の利用目的から変更し、新たな管理者の自主事業の拠点として活用する。  |
| ④夏場の駐車場不足                       | ・キャンプ場利用者の優先的駐車区画を確保する。   |
| ⑤隣接するJRの線路・踏切の安全対策              | ・時刻表や注意看板を掲示する。   |
| ⑥パークゴルフ場の活用                     | ・近隣のパークゴルフ場と連携し、利用者の多くを占める年間会員の拡充を目指す。<br>・駐車場余剰スペースを有効活用する。<br>・隣接する八田原ダムと連携し、周遊性を高める。 |

### 矢野温泉公園四季の里もみじ谷園キャンプ場

|       |  |
|-------|--|
| コンセプト | ニーズに応じてフリー・オートサイトでのキャンプを楽しめ、地域産品や地元主催のイベントに触れることで「びんご府中らしさ」を感じることができるキャンプ場 |
| ターゲット | キャンプ未経験者から上級者、中年層、家族層、グループ客、個人客  |

|      |   |
|------|---|
| 自然   | 森林、あやめ園、矢野岩海                                      |
| 地元住民 | 矢野町内会、矢野地域づくりの会                                   |
| 施設   | 充実したキャンプ区画の設備、アスレチック広場、芝生斜面、多目的広場、ワーケーション施設、四季彩工房 |

| 課題                    | 対応策(案)   |
|-----------------------|--|
| ①冬季営業ニーズへの対応          | ・水道の凍結防止対策の実施や暖房器具等持込に対応する電気設備を改修する。                       |
| ②アスレチックの活用            | ・アクティビティを充実する。   |
| ③ワーケーション施設の活用         | ・宿泊も可能とするなど、ワーケーションの用途に限らない利用方法を検討する。(許認可関係は要整理)           |
| ④多目的広場の活用             | ・一部をキャンプサイトへ活用する。<br>・フリーキャンプ場へのアクセスを改善するため、一部を駐車場として活用する。 |
| ⑤四季彩工房(そば処、木工体験施設)の活用 | ・売店、レストラン、ワーケーション施設、キッズコーナーなどへ活用する。                        |
| ⑥あやめ園の活用              | ・一部をキャンプサイトへ活用する。  |

## 9.スケジュール

本基本構想の対象期間は令和5年度(2023年度)から令和14年度(2032年度)までとします。変化のスピードが早い現代社会のニーズに対応できるよう、府中市、指定管理者、地元住民が密に連携して必要に応じて見直しを行います。

## 10. キャンプ場利用者アンケート

各キャンプ場の利用者を対象に実施した令和2年度のアンケート調査の結果については、県内、主に隣接する福山市からの利用客が多い傾向にあり、どのキャンプ場も自然に囲まれたキャンプ場として魅力があるとの回答が多かった一方で、シャワーブースの整備を求める回答も多くありました。

利用後の感想として「また来たい」と回答いただける利用者やファンを増やしていくためにも、今後は水回り設備を中心に快適に利用してもらうために必要な施設内の整備を進めるとともに、利用者意識した今後のキャンプ場のありかたの検討を継続していきます。